

一般社団法人 山梨県理学療法士会会報誌

SUPPORTERS

サポーターズ

No.148 2016 秋号

一般社団法人

山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 790名 施設数 125 (H28.5.10現在)

剛毅果断

一般社団法人 山梨県理学療法士会
会長 小林伸一



5月10日の総会におきまして、9人の理事(新任4人)と2人の監事です新たに一期2年の士会運営を拝任いたしました。有泉新事務管理局長を中心に理事一丸となって士会員にとってより身近な士会、そして県民の医療・介護・保健・福祉等に寄与する活動を、地に足を着け全うしていきたくと思います。また、理事改選に伴い任を終えられました部局員の皆様には、士会活動に多大なるご尽力を注いでいただきましたこと、理事会を代表して敬意を表します。ご苦労様でした。今後とも、士会活動へのご協力をお願い致します。

さて、一般社団法人として新たな一步を踏み出し3年が経過しました。この間、事務所の開設、定款の整備等法人としての新たな組織作りをし、平行して学術団体としての研修会や理学療法・理学療法士の啓発活動など多岐に渡る各局の活動も粛々と進めてきました。トピックスとしては、1000人を超える参加者を得て第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会(高村浩司学会長)を大過なく成功裏に終え、三士会間では山梨県リハビリテーション専門職団体協議会を設立し、地域支援・支援教育・災害対策・訪問リハ・学術大会等の協業事業も展開しました。しかし一方では、専任事務員の配置や事務局機能一病院集中型の分散など事務局機能の見直しや地域包括ケアシステムに対応できる人材育成等々課題もあります。また、来年1月開催予定の士会学術大会は20周年を迎える節目の大会であり、関ブロ同様成功させなければなりません。当然並行して、学術団体としての研修会や啓発活動なども粛々と取り組んでいきます。これからも監事兩名のご指導と士会員の皆様の高所大所からのご協力をいただきながら士会発展の為、尽力していきたくと理事一同考えておりますので引き続きのご支援を重ねてお願い申し上げます。

Contents

剛毅果断…1

平成28年度定期総会報告…2

新理事紹介・挨拶…3～4

平成28年度山梨県理学療法士会交流会報告…5

特集

「平成28年度新人理学療法士・転入会員紹介」…6～11

各部活動報告…12～13

●学術研修部 ●広報部 ●スポーツPT部

お知らせ…14～15

●委託講習会部 ●事務管理局 ●学術集會部

リレーエッセイ Part30…16～17

原稿募集…16

編集後記…17

[supporters(サポーターズ)]とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。

平成28年度定期総会 報告

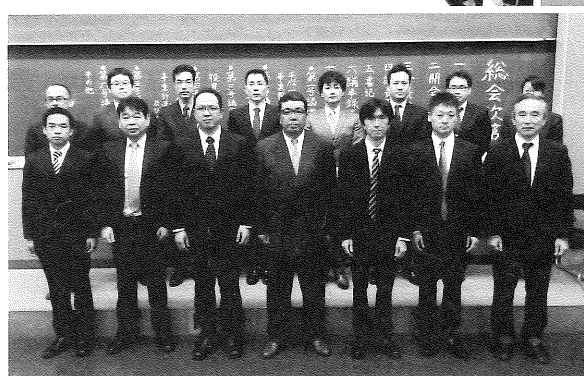
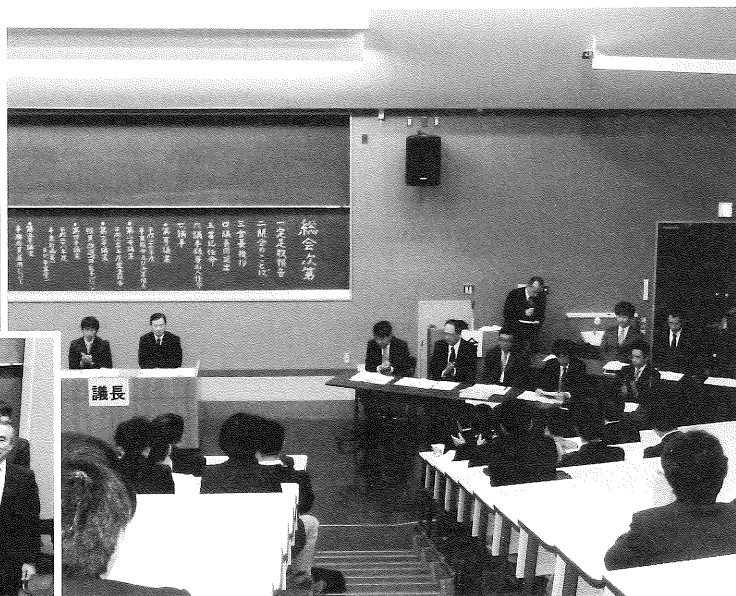
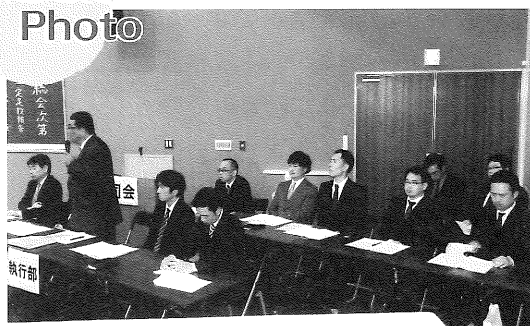
平成28年5月10日(火)、山梨大学医学部附属病院大講堂にて、平成28年度定期総会を開催しました。正会員数790名に対し、出席者数119名、委任状394名、計513名、定款21条に基づき会員数の過半数の出席により総会成立となりました事を報告させていただきます。平成27年度は、関東甲信越ブロック理学療法士学会という大事業も抱え、各局部とも多様化するニーズにこたえるべく、二足の草鞋を履き精一杯運営してまいりました。その甲斐あって、総会では平成27年度のすべての事業で承認を得る事ができました。また今回は役員改選もあり、小林伸一会長の続投宣言をはじめ、多くの理事が立候補され、無投票当選となりました。同時に平成28年度の事業計画・予算案ともに承認を得、頼もしい顔ぶれでの新体制のスタートとなりました。

今後の士会事業の発展的な継続には、表にでない部分も多い中、その情報を正しく伝え、若い会員がいかに関心を持ち、賛同し、自発的な協力を得られるかが鍵となっています。それが組織力の強化となり、その先には地域の必要性に応えられる理学療法士会でありたいと願います。経験年数によらず会員の士会活動に是非参画してみませんか？

最後になりますが、総会議長を引き受けていただいた藤原年治先生、八木野孝義先生をはじめ、忌憚のないご意見をいただき、またスムーズな進行にご協力いただきました、士会員の皆様に感謝いたします。今後とも、士会運営に対し積極的なご参加ご協力をお願いし、総会報告とさせていただきます。

前事務管理局局長 藤田 理恵
(湯村温泉病院)

定期総会 Photo



※総会議事録は士会 HP に掲載されているため
確認を宜しくお願い致します。

副会長 高村 浩司 (健康科学大学)

先の総会で副会長の責務を拝命しました高村です。理学療法士を取り巻く環境は地域包括ケアシステムの構築や理学療法士数の急激な増加に伴う質への懸念など今までにない過渡期をむかえています。今後の理学療法士の身分を担保するためには臨床、教育、研究の柱の中で質の高い理学療法を提供し、連盟や他団体との連携を強固に図ることが重要と思われまます。山梨県理学療法士会の更なる発展のため、微力ながら小林会長の補佐を務めさせていただきます。2年間よろしくお願い申し上げます。

副会長 磯野 賢 (甲州リハビリテーション病院)

副会長を拝命し2期目になります。会の運営では、今までは、なんとなく様々な課題があると思っていました。しかし、今は明確な課題があり、その課題を一つ一つ確実に解決していかなければ前に進むことが難しくなっていると感じます。この課題解決には、誰かがしている会ではなく会員が作る会である必要があると思います。今はやりの「活動」と「参加」ではありませんが、みんなが参加し、活動する会と一緒にしていきましょう。

事務管理局长 有泉 静佳 (あけぼの医療福祉センター)

今年度の役員改選に伴い、事務管理局が湯村温泉病院から変更となり、私が事務管理局长を引き受けることとなりました。事務管理局の仕事を一口で言うと、「円滑な士会活動のため、縁の下から支えていくこと」になるのではないのでしょうか。とは言え、まだまだ不慣れなためいろいろとご迷惑をおかけすると思いますが、会員みなさまのご協力を頂きながら進んでいきたいと思ひます。引き続き、士会活動へのご協力をよろしくお願い致します。

企画局长 井村 順治 (恵信甲府病院)

本年度、当会で企画局を担当させていただいております、恵信甲府病院、井村と申します。当局は公開講座部、企画研修部、調査研究部で構成されております。一般市民を対象とした公開講座や会員の皆様を対象とした臨床技術以外の研修、調査の検討・実施を行ってまいります。いずれの事業も県民や会員の皆様にとって有意義なものになるよう努力してまいりますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

学術局长 名取 大輔 (石和共立病院)

今年度より新任理事として学術局を担当させて頂く事となりました、石和共立病院の名取です。前年まで4期に渡り学術研修部長を担当させて頂きました。今期は学術局にて学術研修部と学術集会部を担当させていただきます。今まで諸先輩方が築かれた当学術団体がより発展できるよう、また士会員の皆様にとってもより臨床で活かせる内容を提供できるよう各部長と協力しながら邁進して参りたいと思ひます。

新理事紹介

生涯学習局長 北山 哲也 (山梨リハビリテーション病院)

近年、生涯学習システムに関してはルールが複雑となっています。会員の皆様には最新情報をシンプルにお伝え出来るようホームページなどを活用し、情報発信していきます。生涯学習を進めていくことにより、各分野でのエキスパートが増員できるよう祈念しております。山梨県理学療法士会が社会から更に一目おかれるような素晴らしい団体となるように微力ながら携わることができれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

社会局長 古屋 伴仁 (韮崎市立病院)

今期も引き続き、社会局長を担当させて頂く事となりました古屋です。2期目になりますが責任の重さをより痛感しております。社会局に置かれている委託事業部、スポーツ理学療法部の活動を通して理学療法士による更なる社会貢献を行っていきたくと考えております。市川普隆委託事業部長、小尾伸二スポーツ理学療法部長のサポートを受けながら、2年間、任を懸命に努めさせて頂きます。若輩者ではありますがよろしくお願い致します。

福祉厚生局長 三科 貴博 (健康科学大学)

この度福祉厚生局をお預かりすることとなりました健康科学大学理学療法学科の三科貴博と申します。山梨県理学療法士会の会員の皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。2018年には診療報酬・介護報酬のダブル改定があり、おそらく向こう10年間の医療・介護施策の方向性が示されるであろうと言われています。内容によっては理学療法士にとって死活問題になるかも知れず、綿密な情報収集と正確な情報提供が会員の皆様に対する義務であると考えています。医療保険部、介護保険部、地域連携部にて研修会も企画していますのでどうか積極的なご参加をお願い申し上げます。

広報局長 大西 正紀 (甲州ケア・ホーム)

広報局を担当させて頂くことになりました甲州ケアホームの大西正紀です。広報局では理学療法士及び理学療法に関する啓発活動、会報誌(サポーターズ)の発行を行っていきます。広報活動を通して県民の皆様が理学療法士及び理学療法がどのようなものなのかを知って頂き、理学療法士の活動の幅が広げられるように活動を行っていきます。また、会員の皆様への情報発信がスムーズに行えるように活動を行っていきます。

平成28年度 山梨県理学療法士会交流会報告

平成28年6月10日、ベルクラシック甲府にて県士会交流会が開催されました。今年もたくさんの仲間が県士会に加わり、初々しくパワーに溢れるフレッシュマンたちと楽しい時間を過ごしました。今回の参加者は276名(一般会員202名 転入会員5名 新入会員63名 来賓6名)で昨年を上回る人数となりました。

また、今年の7月に見事参議院議員となられた小川克己先生にもご参加いただき、理学療法士の現状・未来についての大変貴重なお話を頂きました。

会場では4月に発生した熊本地震への義援金を皆さまより頂き、総額50,158円が集まりました。今や交流会の恒例行事となった「施設紹介」も行われ、27施設から施設の紹介、新入職員の紹介がそれぞれの施設カラーを出しつつ賑やかに行われました。例年では時間や順番など混乱することが多かったようですが、皆さまのご協力により時間も流れも大きなトラブルなく進めることができました。会場では久しぶりに会った仲間・先輩・後輩との交流、フレッシュマンたちのあいさつ回りなども行われ、年に一度の交流会はとても有意義なものとなりました。

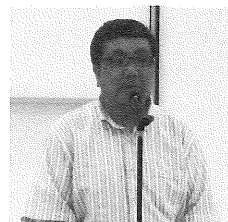
交流会へご参加くださいました皆様、また当日に準備スタッフとして協力してくれた湯村温泉病院の仲間に心から感謝いたします。

前事務管理局 総務部 木村 良 (湯村温泉病院)

交流会 Photo



日本理学療法士協会
小川副会長



山梨県理学療法士会
小林会長



山梨県理学療法士会
磯野副会長



各部 活動報告

学術局 学術研修部発

□ 第1回学術研修会

- 日 時 平成28年7月24日(日)
- 場 所 桃源文化会館「桃花の間」
- テーマ 「糖尿病運動療法に関する最近のトピックス」
- 講 師 愛知みずほ大学 学長 糖尿病内科医 佐藤祐造先生
湯村温泉病院 理学療法士 藤田理恵先生
けいゆう病院 理学療法士 金子敬弘先生



学術研修部では、県士会員の皆さまに向けて、年4回の理学療法技術の研鑽を目的に、研修会開催に向けた準備と運営を中心に活動しております。7月24日に開催された第1回学術研修会では、愛知みずほ大学学長の佐藤祐造先生、湯村温泉病院理学療法科長の藤田理恵先生、けいゆう病院の金子敬弘先生の3名の先生方にご講演をいただきました。佐藤祐造先生には、糖尿病内科医として「糖尿病の運動療法の理論と指導方法」について、藤田理恵先生、金子敬弘先生の両先生には、理学療法士として「地域における糖尿病に対する理学療法士の役割」、「糖尿病性神経障害のバランス機能」について、それぞれご講演をいただきました。当日は110名を越える県士会員の方々にご参加をいただきまして、糖尿病の基礎的理解に留まらず、今後の応用健康科学に発展する議論がなされておりました。これからも学術研修部では、基礎から臨床に繋がる研修会を企画して参りますので、奮ってご参加いただきますよう、よろしくお祈りいたします。

学術局学術研修部長 廣瀬 昇

- 問い合わせ先：学術局学術研修部 廣瀬 昇
(帝京科学大学医療科学部理学療法学科内 TEL 0554-63-4411)

広報局 広報部発

□ 介護予防推進キャンペーン報告

PT
の
日



7/17日(日)の理学療法の日全国一斉に介護予防推進キャンペーンが行われ、当士会も同日、イトーヨーカドー甲府昭和店にてイベントを行いました。今年度は恒例のグッズ配布と介護予防相談コーナーに加え、ロコモ度テストコーナーを設け、参加者に運動機能のチェックなど体験型のイベントを企画・実施しました。また、小児期のロコモ(こどもロコモ)の資料を作成、参加者に配布したことで家族全員でテストを実施して下さった方もいて、楽しみながら幅広い年齢層の方々に健康増進への意識を持っていただくことが出来ました。イベントには地元新聞2誌(毎日新聞山梨版、山梨日日新聞)が取材に訪れ後日、その活動が掲載されました。毎年7月17日は「理学療法の日」です。各施設で働いている会員の皆様におかれましても、理学療法士の職域拡大や地位・認知向上に向け、今後も広報活動にご尽力を頂ければ幸いです。



- 問い合わせ先：広報局広報部 雨宮直樹
(山梨県立中央病院リハビリテーション科内 TEL 055-253-7111)

□ 山梨県高校野球選手権大会予選のサポートを経験して

国立病院機構甲府病院 田中太一

平成28年7月20日の準々決勝から決勝戦までの5日間、全国高等学校野球選手権山梨県大会のサポートを経験させて頂きました。活動内容は、試合後に投手や怪我のある野手の状態チェックとベンチ入りした全ての選手にパートナーストレッチ、セルフストレッチの指導を通して選手のケアを行うことで、私は体幹・下肢のパートナーストレッチを指導する経験を得ました。最近のスポーツ強豪校には理学療法士やトレーナーなどコンディショニングの専門家が介入している話を多く聞いていたため、体の柔軟性は高いものと想像していました。しかし実際に指導すると、どこをストレッチしているのか分かっていない選手や筋・関節の硬い選手も数多く、柔軟性への意識と指導が不足している印象を受けました。選手にとってコンディショニングは重要です。柔軟性だけでなく怪我の予防や正しい身体の使い方などを選手に伝えていく活動の重要性を改めて考えることのできる良い機会となりました。



□ 山梨学院大学女子サッカー一部帯同報告

笛吹中央病院 木暮秀幸

今年度から新たに山梨学院大学女子サッカー部のチーム帯同が始まりました。担当として関わり3ヶ月経過した7月10日に初めての試合帯同に行きました。内容は、試合前のコンディショニングチェックとテーピング、試合中の救急対応、試合後のコンディショニングでした。救急対応での反省点は数知れず、経験してみないとわからないことが多々ありました。特に重度の脳震盪の選手への対応はスポーツ現場ならではの、普段目の当たりにしないこともあり、とても印象に残っています。また通常は練習後クラブハウス内での治療であるため、実際にグラウンドで選手の動きをみると症状やパフォーマンスに想像と違う部分もあり、現場に行くことの重要性が良く解りました。今回の帯同では、自分自身の力不足を痛感し課題も残りましたが、得るものも多くあり今後の治療に活かしていきたいと思います。また、こういった1つ1つの経験から人としても理学療法士としても成長していければと思いました。



●問い合わせ先：社会局スポーツPT部 小尾伸二
(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内 TEL 055-273-9805)

お知らせ

委託講習会部 セミナーのご案内

① セミナー番号 10268 脳卒中片麻痺者の実践的アプローチ

日 付：2016/10/14(金)～2016/10/16(日)

会 場：山梨リハビリテーション病院

講 師：北山・伊藤・高村・福富・鮎川・小嶋

内 容：脳卒中片麻痺者への評価と治療に対して神経生理学、神経心理学、姿勢・動作分析などの様々な視点からの知識・技術を習得する。

問い合わせ：pt_yamareha@yahoo.co.jp (鮎川将之)

② セミナー番号 10269 臨床運動分析 (ヒューマンムーブメント)

日 付：2016/11/5(土)～2016/11/6(日)

会 場：健康科学大学リハビリテーションクリニック

講 師：高村・北山

内 容：立ち座り動作や歩行の評価を中心に、具体的な運動療法の立案を行う。講義・実技を通して運動学、神経生理学など様々な視点からの知識・技術を習得する。

問い合わせ：inamochi.yuta@gmail.com (稲持裕太)

申し込みはPT協会 HP (マイページ) から研修会セミナー番号を検索し行ってください。
期日を過ぎての申し込みの場合は、問い合わせ先にご連絡ください。

● 問い合わせ先：生涯学習局委託講習会部 稲持裕太

(健康科学大学リハビリテーションクリニックリハビリテーション科内 TEL 0555-73-2800)

事務局より

◆ 各種申請手続きについて ◆

基本的に WEB での申請になります。ただし、WEB 環境がない等、紙面申請しか実施できない会員様は、協会事務局へご連絡頂きますようお願い致します。協会から個別に用紙が届きます。

◆ 慶弔申請の窓口は事務局です ◆

■ 慶弔事項 (一親等及び配偶者) が発生しましたら、事務局まで速やかにご連絡をお願いします。

■ 公益財団法人日本理学療法士協会

弔事への対応ならびに見舞金の支給に関する規定について

協会会員に弔事および被害があったときの弔意行動および見舞金について定めた規定があります。詳細は県士会ホームページをご覧ください。

◆ 勧誘電話についてのお知らせ ◆

怪しい勧誘電話にご注意下さい。協会からの文書を士会 HP に掲載してありますので、御確認下さい。

◆ 財務部より ◆

会費の納入はお済ですか？ 未納の方は納入をお願いします。

日本理学療法士協会、山梨県理学療法士会会費徴収は、原則として「楽天カード」にて行われます。お早めに「楽天カード (日本理学療法士協会会費徴収用)」の発行をお願いいたします。お手数ですが円滑な士会運営の為、会員みなさまのご協力をお願い致します。

● 問い合わせ先：事務局 有泉 ariizumi-achi@pref.yamanashi.lg.jp

第20回山梨県理学療法士会 学術集会(20周年記念大会)開催のお知らせ

1. 日 時 平成29年1月28日(土)・29日(日)

2. 会 場 桃源文化会館(〒400-0222 南アルプス市飯野2971)

3. プログラム

特別講演Ⅰ 「片麻痺者の移動・歩行分析と装具の適合 ～バイオメカニクスの観点から～」

講師：山本 澄子(国際医療福祉大学大学院)

特別講演Ⅱ 「拘縮に対するリハビリテーション戦略」

講師：沖田 実(長崎大学大学院)

※教育講演・モーニングセミナー・シンポジウム・一般演題など、新人教育研修部・学術研修部との共催企画を予定しています。

4. 対 象 者 県士会所属理学療法士

※発表主演者には、新人教育プログラム単位3単位 C-6の単位が認定されます。

第20回山梨県理学療法士会学術集會会期中の託児室開設についてのお知らせ

1. 開設日時 平成29年1月28日(土) 午前9:30～19:00まで
29日(日) 午前8:00～16:00まで

2. 対象年齢 0歳～小学校低学年(相談に応じます)

3. 定 員 同一時間帯約10名程度

4. 保育料金 無料(保険料は県士会が負担致します)

5. 食事について 昼食、おやつは各家庭での準備をお願いします。

6. 申込方法 件名を「託児申し込み」とし、下記必要事項を記入の上、平成28年12月28日(水)までに学術集会部へE-mail(PC)にてお申し込み下さい。
確認後、正式な利用書類をお送り致します。E-mail以外での申し込みは下記電話番号にご連絡ください。

●お申し込み後、一週間以内に受理のお知らせがない場合は、お手数ですが下記電話番号にご連絡下さい。またお預かりした個人情報は学会運営以外には使用致しません。

必要事項

- ① 申込者氏名
- ② 所属(施設名 or 自宅)
- ③ 連絡先住所、携帯電話番号、E-mail(PC)

申し込み・問い合わせ先

〒406-0004
山梨県笛吹市春日居町小松855
山梨リハビリテーション病院 理学療法課内
学術集会部 菊池 信、清水一彦、鮎川将之
TEL 0553-26-3030
FAX 0553-26-4569
E-mail gakkai.yamanashi@gmail.com

リレーエッセイ ～途絶えることのない バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前のSupportersにあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるといことで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

Part30-1

湯村温泉病院 木村 良

こんにちは、湯村温泉病院の木村と申します。今回はエッセイということでたわいもないお話を思いつくままさせていただきたいと思います。先日、父が他界した時のことです。火葬される前夜に「故人がさみしいから一緒に寝てあげて」とのややお節介ぎみの親族の言葉により何十年かぶりに父と一夜を共にすることとなりました。実父とはいえ、えびす様のような穏やかな表情とはいえ、遺体の横で眠るという最後の親孝行にやや戸惑いながらも線香を絶やさぬよう気を配りつつ床に就きました。やはり熟睡はできず、目が覚める度に隣のえびす様を恐る恐る確認し、「異常なし!」と何のチェックをしているのか自分でもわからないまま、本来の目的からずれていることも気にせず朝を迎えました。霊感的なものは一切持ち合わせていない自分ですが、その晩は“わさわさ”とした空気感をずっと感じていました。翌朝、霊感的な義姉が「お父さんの夢をみたよ。武士みたいな人や男の人たちに囲まれてニコニコしてた。グランドゴルフ大会のトロフィーと犬の写真を大事に抱えていたよ。」と……。子供や孫たちの写真ではなく愛犬の写真を抱えているところが、いやに父らしくとてもリアルでした。昨晚の“わさわさ感”は父が旅立ちの準備をしていたのかな、と私自身もお別れを実感しました。……隣で息子がドキドキしながら寝てるのに犬の写真探してたのかよ! 今頃天国でご先祖様たちと一緒に楽しくやっていることと思います。

次回は、『赤坂台病院の水上 卓さん』にお願いしてありますので
よろしくお願ひ申しあげます。

原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

● 問い合わせ先：広報局 会報部 古澤淳一
塩山市民病院 TEL:0553-32-5111 FAX:0553-32-5115
E-mail:yamanashikaihoubu@yahoo.co.jp



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※第149号発行は、
2017年2月を予定しています。

原稿の締め切りは、

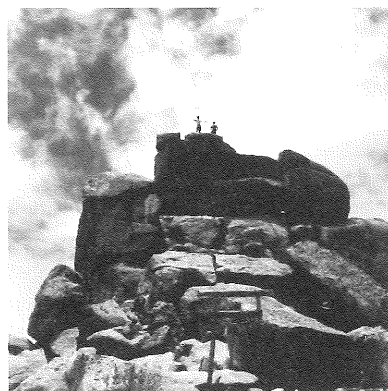
1月中旬です。

Part30-2

石和共立病院 保坂 陽

みなさんこんにちは。笹本整形外科の杉本弘樹先生からバトンを頂きました。
石和共立病院の保坂 陽です。

今年の夏をみなさんはどのように過ごされましたか？ 私は七月初旬に日本百名山の一つ金峰山に登ってきました。登頂の前日にカップラーメンやその他必要なものを準備したのですがワクワクして中々寝付くことができませんでした。私たちの目的は頂上にある五状岩へ登ることでした。金峰山は標高 2599 m で奥秩父山塊唯一の森林限界となっている山です。場所は山梨県甲府市と長野県南佐久郡川上村の境界にあります。登頂時間は二時間です。2500 m 超えた辺りから森林限界を迎え、辺りは這松と岩だけになります。その景色は今でも鮮明に覚えています。本当に感動し、それまでの疲れを吹っ飛ばしてしまいます。もう一度登りたいと思える景色でした。夏が過ぎ季節は秋になります。外出などして季節を感じてみてはいかがでしょうか。



今回は、『加納岩総合病院の中澤祐字先生』に依頼し、了承して下さりました。
よろしくお祈いします。

編集後記

今年山梨は6月より猛暑となり、8月9日には山梨県身延町でこの日全国1位の最高気温 39.2度を観測、台風にも見舞われた夏となりました。本号が皆様のお手元に届く頃も残暑が厳しいと思われませんが会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

本号は特集として新理事の先生方のご紹介、6月に開催されました交流会といった内容になっております。今回、会員の皆様のご協力の下、本年度第一号の会報誌を発行することができましたこと感謝申し上げます。次回、会報誌発行の際も引き続きご協力の程宜しくお願い致します。会員の皆様におかれましては、これからの季節の変化に体調を崩さぬようお気をつけ下さい。 古澤淳一

● 発行 ● 一般社団法人 山梨県理学療法士会

● 代表 ● 小林 伸一

● 企画・校正 ● 古澤 淳一 菊池 悟 澤田 和文 中島 孝 長田 徹也

● 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ

● 会報部 ● 〒404-0037 山梨県甲州市塩山西広門田 433-1

公益財団法人 山梨厚生会 塩山市民病院

TEL: 0553-32-5111 FAX: 0553-32-5115

E-mail: yamanashikaihoubu@yahoo.co.jp